

補助事業番号： 20-52

補助事業名： 平成20年度 地域における戦略産業イノベーション推進補助事業

補助事業者名： 財団法人 九州産業技術センター

1. 補助事業の概要 (<http://www.kitec.or.jp/>)

(1) 事業の目的

九州地域の製造業、特に、中堅・中小企業にとって喫緊の課題である既存製品の高付加価値化、新製品開発及び新事業・新産業の創出等を促すため、マッチングプロデュース活動や産学官連携技術交流会活動等による広域マッチングから、事業化に向けた事業創出研究会（産学共同研究）の開催、実用化に向けたフォローアップまでの一貫した支援を行う。

次の段階として、イノベーション創出研究開発事業など、国等が実施する提案公募型研究開発事業への提案・採択等を通じ、実用化・事業化を目指す。

(2) 実施内容

①イノベーション創出委員会

平成20年6月20日 第1回イノベーション創出委員会 開催

「平成20年度事業創出研究会研究開発委託の評価選定」

平成21年2月19日 第2回イノベーション創出委員会 開催

「平成20年度事業の実施状況報告及び次年度計画」

②マッチングプロデュース活動

企業の技術ニーズ及び大学等研究機関の研究・技術シーズを広域かつ効率的に発掘・マッチングするため、九州各地からマッチングプロデューサーを委嘱し、技術シーズ・ニーズの発掘、マッチングを行うとともに、事業化に向けた共同研究、フォーメーションづくり等のプロデュース活動を行った。

ア. 技術シーズ・ニーズの発掘と情報交換

マッチングプロデューサーとして大学等研究機関、産学連携支援機関、企業OB等22名（うち、5名は広域マッチングプロデューサー）を委嘱し、技術交流会及び事業創出研究会に参加して、企業からの相談や情報交流に努める一方、大学や公設試の研究者、企業等を訪問して、127件の技術ニーズ及びシーズを発掘した。また定期的にマッチングプロデューサーの連絡会を開催し、各々が発掘した技術シーズ・技術ニーズの情報交換等を通じてマッチングの迅速化を図った。

平成20年度マッチングプロデューサー連絡会

連絡会	開催日時	開催場所	出席人数
第1回	平成20年6月9日	九州産業技術センター	27名
第2回	平成20年9月5日	九州産業技術センター	22名
第3回	平成20年11月13日	ホテルニューオータニ熊本	25名
第4回	平成21年2月9日	八重洲博多ビル（福岡市）	22名

イ. マッチングプロデュース活動の内容

発掘した技術ニーズ及びシーズ127件について、マッチングプロデューサー自らが事業化の可能性（市場性等）を評価し、有望なものについてはコーディネートを図って打合会を立ち上げる等、事業化へのステージアップを行った。本年度は11テーマについて28回の打合会を開催し、10件のマッチングに成功し、一部は提案公募型研究開発事業に応募するなど、次のステップへの足掛かりを築いた。

内 容	件 数
製品化・事業化に向けた取り組み	1件
大学等との共同研究への取り組み	2件
「地域コンソーシアム研究開発事業」への応募	1件
その他研究開発補助金制度への応募	6件
合 計	10件



（第一回マッチングプロデューサー連絡会の様子）

③産学官連携技術交流活動

産学官の広域連携を促すため、大学・高専・研究機関、国・県・市、各種団体等の協力を得ながら、大学等の研究・技術シーズと企業の技術ニーズとの共同研究開発事例の発表など、特色のある交流会を開催した。

具体的には、11月に熊本において、組込みシステム分野での広域分野型の技術交流会を開催、12月には、福岡で、地域における技術ニーズ・シーズの発掘とマッチングを促す地域資源活用型の交流会を開催した他、大分で、複数の大学・高専、県、市、研究機関を中心とした広域連携型（県域）の技術交流会を実施した。

ア. 広域分野型産学官連携技術交流会

- ・開催日：11月13日（木）、14日（金）
- ・場 所：ホテルニューオータニ熊本
- ・テーマ：組込みシステム人材育成の取組（13日）
ソフトウェアプロダクトラインセミナー（14日）
- ・共 催：熊本県組込みシステムコンソーシアム、九州地域組込システム協議会、九州半導体イノベーション協議会
- ・後 援：九州経済産業局、熊本県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、宮崎県、鹿児島県、熊本市、くまもとテクノ産業財団、九州先端科学技術研究所熊本県工業連合会、熊本県情報サービス産業協会、熊本知能システム技術研究会、セミコンフォレスト推進協議会
- ・参加者：13日・・・120名（特別講演）：14日・・・88名（セミナー）
45名（ワークショップ）

イ. 地域資源活用型産学官連携技術交流会

- ・開催日：12月12日（金）
- ・場 所：福岡工業大学
- ・テーマ：癒し・人と環境にやさしい技術
- ・共 催：福岡工業大学
- ・後 援：福岡県、福岡市、株式会社ふくおかフィナンシャルグループ
株式会社西日本シティ銀行
- ・参加者：110名

ウ. 広域連携型（県域）産学官技術交流会

- ・開催日：12月18日（木）
- ・場 所：大分東洋ホテル
- ・テーマ：次世代電磁力応用技術開発と展望 他
- ・共 催：大分大学地域共同研究センター
- ・参加者：152名



(大分技術交流大会)



(産学官連携技術交流会 in 熊本)

③ 事業創出研究会

九州地域の大学等研究機関及び公設試から 30 件の応募があり、イノベーション創出推進委員による技術評価・総合評価を受けて、計 12 件の研究開発テーマを採択した。

【実用化研究会・研究会 A】 7 件（一般枠 4 件、環黄海枠 2 件、ものづくり枠 1 件）

【育成研究会・研究会 B】 5 件（一般枠 4 件、環黄海枠 1 件）

採択した 12 件については、研究・技術シーズ保有者である大学等研究機関に研究委託するとともに、研究開発テーマ毎に実用化・事業化に向けた取り組み、共同研究体制作りの検討、あるいは国等の提案型研究開発事業等への提案に向けた指導・助言等を行う「事業創出研究会」を開催した。（研究会開催数 26 回、参加者数 201 名）なお、「事業創出研究会」には、一部マッチングプロデューサーが参加し、必要な助言等を行った。

〔実用化研究会・研究会 A・研究委託〕

(単位：千円)

区 分	研究題目	代表研究者	期 間 委託額
一般枠	生殖工学を利用した実験動物の遺伝資源開発と効率的供給システムの開発	熊本大学 助教 金子武人	1年 2,000
一般枠	住環境に即した製品開発に係る肉薄製品における意匠創製技術の研究	佐賀県窯業技術センター 特別研究員 関戸正信	1年 2,000
一般枠	導電性高分子薄膜によるマイクロ力覚/触覚センサの創製	九州工業大学 准教授 淵脇正樹	1年 2,000
一般枠	水平リサイクルのための次世代ラマン散乱プラスチック識別機の開発	近畿大学 教授 河津博文	1年 2,000
環黄海枠	脳外科手術ロボットを支援するための高精度な画像位置合わせシステムの開発	九州工業大学 准教授 金亨燮	1年 2,000
環黄海枠	炭素材料での光誘起電荷分離による太陽電池の創製	大分大学 教授 豊田昌宏	1年 2,000
ものづくり枠	硬質窒化ホウ素薄膜の平坦化とガラス成型用モールドへの応用	九州大学 准教授 堤井君元	1年 2,000

〔育成研究会・研究会 B・研究委託〕

(単位：千円)

区 分	研究題目	代表研究者	期 間 委託額
一般枠	機能性食品の開発を目的としたエラスチン由来生理活性ペプチドの探索	九州工業大学 助教 前田衣織	1年 500
一般枠	超微粒 C60 フラーレン応用超精密ポリシングの研究	九州工業大学 教授 木村景一	1年 500
一般枠	印刷法による高精細電極形成を実現する光反応性ポリイミド材料の開発	久留米工業高等専門学校 教授 津田祐輔	1年 500
一般枠	新規ロッド型合金ナノ粒子の創製と水素吸蔵による電子状態の解明	九州大学 教授 北川 宏	1年 500
環黄海枠	環黄海圏に広がる塩類集積土壌の塩生植物アイズプラントを用いた修復・緑化技術の確立と新たな環境修復事業の創出	佐賀大学 教授 野瀬昭博	1年 500



(事業創出研究会)

2. 予想される事業実施効果

① マッチングプロデュース活動

大学・公設試等の技術シーズを発掘・評価することによりマッチングしたプロジェクト、発掘した技術シーズ・ニーズについては、今後製品化・実用化に向けての取り組み、大学との共同研究、更には提案公募型研究開発支援事業等に提案するなどにより、機械工業をはじめとする新規産業の創出、事業化などが期待される。

② 産学官連携技術交流活動

大学・高専が持つ高い技術的シーズや人的シーズ、そして企業側の強いニーズが、具体的な新技術事例発表会等を通じてお互いに把握されることにより、産学連携による機械工業振興に寄与する研究へのきっかけとなる。

さらには広範囲な異業種の交流になることから各大学・高専のシーズ、企業ニーズが一同に提示され、事業化に向けた具体的取組、ひいては地域産業の活性化が図れることが期待される。

③ 事業創出研究会

ア. 研究開発委託

実用化への実現性が高く企業のニーズにマッチングする研究シーズを発掘し、国等の大型プロジェクト提案への育成を一貫して支援する事により、新規産業の創出・機械工業の国際競争力の強化が期待できる。

イ. 事業創出研究会

事業創出研究会は、実用化に向けた産学共同研究を進める過程で年2回開催しており、企業の研究開発（併せて研究会）への参加により技術シーズの実用化に向けた共同研究を進めることにより、研究の促進とともに研究者と企業技術者の知識・技術の交流の場となる一方、産学フォーメーションが形成され、実用化の可能性が高まり、国等の提案公募型研究開発支援事業等への提案など事業化への展

開が促進されると期待される。

3. 本事業により作成した印刷物等

本事業により作成した印刷物（CD・DVD等のソフト・電子媒体を含む）

- (1)平成 20 年度九州地域戦略産業イノベーション創出事業 研究開発委託事業募集要綱
400 部
- (2)平成 20 年度九州地域戦略産業イノベーション創出事業 研究開発委託事業募集案
(ポスター)400 部
- (3)マッチングプロデュース ～広域産学マッチングによる新事業創出を目指して～
500 部
- (4)組込みシステム産学官連携技術交流会 in 熊本 予稿集
250 部
- (5)組込みシステム産学官連携技術交流会 in 熊本 (チラシ) 2,000 部
- (6)福岡工業大学技術交流会～癒し・人と環境にやさしい技術～ (チラシ)
4,500 部
- (7)大分技術交流大会 要旨集 200 部
- (8)平成 20 年度マッチングプロデューサー調査報告書 400 部
- (9)平成 20 年度 九州地域戦略産業イノベーション創出事業 事業創出研究報告書 50 部

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 財団法人九州産業技術センター
(キューシューサンギョウギジュツセンター)

住所： 812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東 2-13-24

代表者名： 会長 鎌田 迪貞 (カマタ ミチサダ)

担当部署： 技術振興部 (ギジュツシンコウブ)

担当者名： 技術振興部長 二階堂 正憲 (ニカイドウ マサノリ)

電話番号： 092-411-7394

FAX 番号： 092-472-6688

E-mail： nikaidou@kitec.or.jp

U R L： <http://www.kitec.or.jp/>